

朝焼けの中…広大な競馬場で一人歌を歌う“圧巻の映像美”に注目！

JRA『第84回 日本ダービー』新CM

松坂桃李さん、高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さんに加え、

CMソングを歌う木村カエラさんが登場！！

～さらに、競馬大好き芸人・カンニング竹山さんも念願の初出演～

「(今後俳優として)調教師の先生とかやりたいですね。
そういう馬との映画をやってみたいなと思います。」

新CM「おまつり」篇 2017年5月3日(水)オンエア開始



【競馬エンターテインメントサイト「Umabi」CM GALLERY】

<https://umabi.jp/joy/cm2017/cmgallery/>

JRA日本中央競馬会は、CMキャラクターを務める松坂桃李さん、高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さんに加え、JRAのCMソングを歌う木村カエラさん、そして競馬大好き芸人のカンニング竹山さんを新たに起用した、『第84回 日本ダービー』の新CM「おまつり」篇を2017年5月3日(水)より全国にてオンエアを開始いたします。

本CMでは、日の出と共に無人の東京競馬場にて、一人芝コース上に立つ木村カエラさんがCMソング「HOLIDAYS」を口ずさむ中、松坂桃李さん、高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さんを含め、日本ダービー当日に抽選で貰えるダービーリボンを付けた多くの観客が続々と東京競馬場に集結します。

また、観客の中には競馬大好き芸人のカンニング竹山さんと競馬評論家の井崎脩五郎さんもあり、東京競馬場に足を運んだ全員が、ドキドキとワクワクが混ざり合いながらも、今か今かと『第84回 日本ダービー』のスタートを待つ様を描いています。

広大な東京競馬場で朝焼けの中、木村カエラさんが一人歌を歌う圧巻のシーンと、『第84回 日本ダービー』を心待ちにする松坂桃李さん、高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さん、そしてカンニング竹山さんのワクワクした楽し気な表情にぜひご期待ください。

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

JRA『第84回 日本ダービー』新CM PR事務局 (ピーポイントプロモーション内)
村松 (080-5516-7370)、落合 (080-5199-7370)
TEL : 03-6277-6701 FAX : 03-3584-1310 E-mail : R_MURAMATSU@ppoint.co.jp

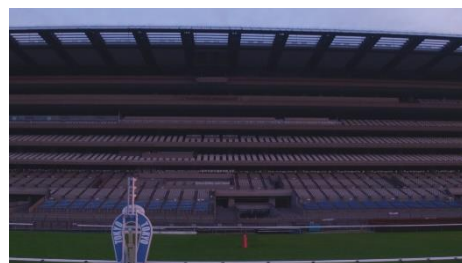
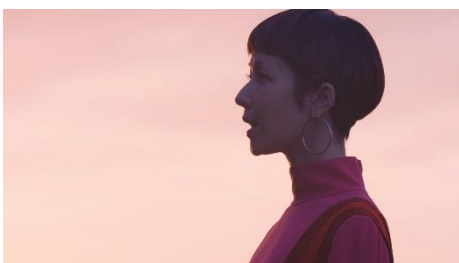
『第84回 日本ダービー』新CM「おまつり」篇 概要

【概要】

- タイトル： 「おまつり」篇（60秒／30秒／15秒）
- 出演者： 松坂桃李さん、高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さん、木村カエラさん、カンニング竹山さん、井崎脩五郎さん
- オンエア日： 2017年5月3日（水）
- 競馬エンターテインメントサイト「Umabi」CM GALLERY : <https://umabi.jp/joy/cm2017/cmgallery/>

【CMストーリー】

日の出と共に無人の東京競馬場にて、一人芝コース上に立つ木村カエラさん。CMソングの「HOLIDAYS」を口ずさむ中、日本ダービー当日に抽選で貰えるダービーリボンを付けた多くの観客が続々と正門ゲートから東京競馬場に集結します。



観客の中には高畑充希さん、土屋太鳳さんの姿も。フジビュースタンドにもダービーリボンを付けた観客が集まる中、柳楽優弥さんもスマホを手鏡にしてダービーリボンをどこにつけるか迷っています。また、芝生席にはカンニング竹山さん、井崎脩五郎さんが競馬話に花を咲かせます。



そしてダービーリボンを襟元につける松坂桃李さんは、「あー、緊張する！」と一言発し、歓声を上げる高畑充希さん、土屋太鳳さん、柳楽優弥さん、そして10万人を超える観客と共に、『第84回 日本ダービー』のスタートの瞬間を待ちます。



【撮影秘話】

<木村カエラさん>

早朝4時、気温が10度を下回る中、東京競馬場の芝コース上で撮影が行われました。

木村カエラさんはリラックスしつつも、真剣な表情で監督と打ち合わせを行い、日の出までの間、何度もカメラアングルのチェックを行っていました。

そして、日の出と共に本番がスタート。ドローンの動きが上手く合わず、長時間に渡っての撮影となりましたが、木村カエラさんは寒さに耐えながらも笑顔で本番に臨んでいました。

そして撮影が終了すると、達成感からか、芝コース内で手を大きく広げて深く深呼吸している木村カエラさんの姿が印象的でした。

【制作スタッフリスト】

クリエイティブディレクター：麻生哲郎

プロデューサー：矢野健一

プロダクションマネージャー：佐野大 / 佐藤博美

営業：橋本昌和 / 佐々木裕樹 / 木村暢高 / 達川大輔

監督：関口現

カメラマン：阿藤正一

照明：高倉進

美術：中村桃子

録音：稲村和巳

【木村カエラさん インタビュー】

■ 今回のCMでは、日の出と共に広大な競馬場で一人歌を歌われましたが、このシチュエーションでの撮影のオフアートを聞いた時、いかがでしたか？

馬がちゃんと走る場所で歌を歌えるということを知って、それがすごく嬉しかったですよ。なかなか入れる場所ではないので、「え？芝の上で歌えるの!？」みたいな興奮がありました。

■ 東京競馬場は初めてですか？

今日の撮影で3回目かな。普通に競馬を見にきました。

■ 今回のCMでは競馬場で歌を歌いましたが、今後どんな変わった場所で歌ってみたいですか？

今日とても綺麗な芝の上で歌わせてもらったんですけど、芝の上ってやっぱりいいなと思って、芝の上でのんびりピクニックみたいな感じでアコースティックなLIVEができればすごく素敵だなと、今日撮影をしながら思っていました。

■ 今まで経験した中で、すごい変わった場所で歌われたことはありますか？

街のすぐそことかでLIVEをしたことがあるような気がするんですけど…。

あとラフォーレ原宿で突然LIVEしたこともあります！ゲリラでLIVEをデビュー当時したことがありますね。

やっぱ（ゲリラLIVEは）ドキドキしますよね。なんかゲリラで出て行って人が「え!？」みたいな感じで誰も止まらなかったらどうしようっていう、ゲリラなりのドキドキ感もありますよね。

■ 本日は長時間での撮影でしたが、苦労したことは何ですか？

朝すごく早い時間に集合で、朝というか夜中の1時半に家を出たんですけど、どこのタイミングで寝ればよいか分からなくて、すごく夜早く寝て、現場に来たのが大変だったなって思います。でもすごく元気に撮影ができたのが良かったんですけど。あとはちょっと寒かったですね。

■今回は「日本ダービー」のCMですが、競馬では「最も運が強い馬がダービーを制す！」とも言われています。今までで一番「運が良かったな」と思う時はありましたか？

私、基本ずっと運良いです！（笑）

ずっと運が良いというか、悪い時もあるんですけど、運が良くて…。デビューできたときもそうですし、今もそうですし、小学校の時も商店街のくじ引きで炊飯器当たったことがあって、ずっと運が良い生活を送ってます。（笑）

■木村カエラさんが「馬主」になったら、何という馬名をつけたいですか？

今なら「ホリデイズ」はいいなって思います。すごい明るい馬だし、こうやって（CMに）関わらせていただいて、曲も書いたので、「ホリデイズ」っていう馬はすごくみんなの期待を背負ってくれそうでいいなと思いました。

【カンニング竹山さん インタビュー】

■CM撮影を終えての感想や見どころを教えてください

ダービーって良いんだよ！っていうのを僕の大先輩の井崎脩五郎さんと僕で、この年の人でも楽しめるよ、若い人も楽しんでいただけるし、ビギナーでも楽しんでいただけるし、我々ベテランも楽しいダービーというか、ダービーとはそういうものだ！というのを1カットだけど出せたと思います。（笑）

表情は意識するというよりも、井崎先生といるといつも、番組とかで一緒になった時にグラグラ笑っているときがあるので、本当に幸せな表情だと思います。芝居しているんじゃないって、素で幸せな顔のまま、勝手にカメラを回してたって感じだと思いますね。

■競馬好きで有名なカンニング竹山さんですが、今回初めてJRAのCMに出演されましたが、オファーが来たときいかがでしたか？

正直言うと、「うわ！キタなー！！」って感じでしたね。20年近くずっと競馬が大好きで携わってきましたから、「うわー！いよいよキタな！」っていう感じでしたね。大万馬券をとった時のような気持ちになりましたね。予想していませんでしたから、偶然買った馬券が大万馬券になったぐらいな、そんな感じでした。

テンションはかなり上がりましたね。出たいなーってずっと思っていましたけど、僕みたいなのは無理だろうなって、勝手に思ってたんで、嬉しかったです。

■カンニング竹山さんにとって、ズバリ「競馬」とはどういった存在でしょうか？

正直言うと、身体の一部だと思いますね。生活の一部でもありますし、競馬がない人生というのは、考えられないくらいになってますね。土日は競馬！もちろん仕事もありますけど、土日は競馬というのが身体に染みついていますよね。ライフワークより上をいっていると思います。

■競馬を好きになったきっかけはなんですか？

好きになったきっかけはまさにこの場（東京競馬場）なんです。九州から上京してきて、その時は競馬なんて全然知らなかったんですけど、先輩に「ドタキャンされたからお前付いてこいよ」と言われて、「いやいや競馬とか俺はいいですよー」って言って、この府中にきてまさにこの風景を見たんですよ。見た瞬間にコロっと変わりましたね。ここで60～70kmで走る馬を見て、「なんだこれは…」ってなりました。その日からですね。

■俳優としての竹山さん、芸人としての竹山さん、それぞれの仕事をするにあたり、普段から意識していることや気を付けていることはありますか？

特に切り替えはないですね。ただただその現場で求められたことをきちっと真剣にやるってことです。意外とね、根はちょっと不真面目なんですけど、仕事の時は真面目に、成功しても失敗してもちゃんとやるってことです。あとは人に迷惑をかけないってことであれば、大丈夫だと思います。お笑いもふざけているようなんですけど、真剣にやっているんですよ。それでハマんなかったこともあるんですけどね。

■俳優として、こんな役をやりたいとかありますか？

競馬場だからいうわけじゃないんですけど、ジョッキーの役は無理なんで、調教師の先生とかやりたいですね。馬との物語、主役ではないですけど、頑固な調教師の先生で、ジョッキーとケンカしたりとか、お客さんと夢をはせるじゃないけど、そういう馬との映画なんかやってみたいなと思います。

■一番思い出深い「ダービー」は何ですか？

難しいな～、毎年ダービーは特別だからね。一番驚いたダービーは、サニーブライアンという馬がこの府中（東京競馬場）のタープを逃げ切った時ですね。馬券は外しましたが、驚きましたね。皐月賞で勝ったときは偶然だって言われてたんで、その馬がこの府中の2400mを逃げ切った時は馬券は外れたけど身震いがしましたね。

■今回は「日本ダービー」のCMですが、競馬では「最も運が強い馬がダービーを制す！」とも言われています。今までで一番「運が良かったな」と思う時はありましたか？

トータルで言うと、こうやって生活できるようになったことですかね。20代の頃は、仕事もありませんでしたし、芸能界では成功しないなと思ってたんで、それが色んな人に出会って、色んなことがあって、急に20代の終わりからガラガラっと、あれ人生変わってきたって自分で思えるぐらいな感じになったんで、芸能界で仕事できることが運が良いなと思いましたね。あとは競馬と出会ったことも運が良いと思いますよ。ここは僕のホームですから、何回ここに来ただっていうくらい、こういうものとも出会って、JRAのCMに出演させてもらうっていうのは、これもトータル的に見れば運が良いかなと思いますね。

■最近、ちょっとした運が良いことはありましたか？

芸人だからこそ運が良いと僕は捉えたんですけど、ちょうどロケで馬券を買いに来たんですよ。それで僕が偉そうに「見てるよ！」と、「競馬歴何年だと思ってるんだ！」と言って、この馬が来るぞと言って、それでゲートが開いた瞬間に僕が賭けた馬がつかずいて落馬したんですよ。（笑）僕のレースは終わったんですけど、それはテレビ的には運が良かったですね。スタッフからは「持ってるね～」って言われましたね。バラエティー的には運が良かったと思います。

■カンニング竹山さんが「馬主」になったら、何という馬名をつけたいですか？

昔から決めている名前があって、僕が馬主になったら「タケノマッケンオー」っていう名前を付けるんですよ。タケノは竹山だから、ゲームとかでも必ずタケノって名前をつけるんです。マッケンオーって名前は、僕が競馬を始めた年にちょうど「ナリタブライアン」の年なんですけど、その時に「フジノマッケンオー」っていう馬がいて、この馬を一番最初に好きになったんですよ。だから基本「フジノマッケンオー」がいて、そこから「グラスワンダー」とか好きになったんだけど、基本の基本、スタートは「フジノマッケンオー」だったんです。だからそこからちょっといただいて、竹山のタケノをつけて、「タケノマッケンオー」という名前をいつか自分の馬につけたいというのが僕の夢です。